

外食・中食 調査レポート

世界市場－2014年 Q2 中国とドイツで食の安全の問題が客数に影響



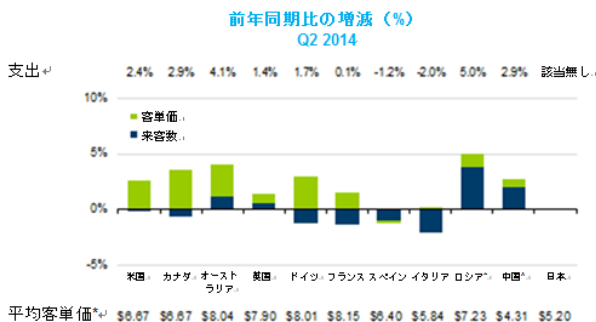
【シカゴ、2014年9月29日】 NPDグループのグローバル外食・中食調査 CREST®によると、2014年第2四半期は、世界全体の外食・中食市場における客単価の増加を背景に、全ての国(スペイン、イタリアを除く)で消費支出が一般的に増加したことが明らかとなった。

当四半期における外食・中食市場の客数の結果はまちまちとなり、各国の経済環境や消費者マインドの水準、その他業界特有の問題(食の安全など)をそれぞれ反映するものとなった。

食の安全に関しては、中国およびドイツのレストランチェーンで客足が遠のいた状況が明らかになっている。

外食・中食市場における消費者の購買動向について継続的調査を行うCREST®によると、外食・中食における成熟市場のうち当四半期に客数が増加したのは、オーストラリアと英国の2か国のみであった。

消費支出の内訳



* ロシアは16都市が対象
 ^ 中国は8都市が対象
 2014年の日本に関するトレンドデータは未入手
 出典: NPDグループ/CREST®

まだ若い市場である中国やロシアでも客数が増加した。

スペインは、欧州市場の全体的な客数を何年も押し下げていたが、当四半期は客数の減少幅が改善に向かった。一方イタリアは-2%減となり、最も急激な落ち込みを記録した。

NPDグループの欧州フードサービス担当シニアバイスプレジデント Jochen Pinsker は、「好調だった第1四半期を終えて、当四半期、ドイツの外食・中食業界は客数が-1%減少した。

この背景にはワールドカップの影響がある。ワールドカップのために、従来型の外食・中食分野で全体的に利用が減少した。さらに、ある大手ファストフードチェーンで衛生上の問題が発覚し、他のファストフードチェーンにも影響する結果となった。

当四半期に見られた明るい材料としては、消費支出が+2%増加したことだ」と述べている。

当四半期は、世界の外食・中食市場にとってのファストフードレストランの重要性が浮き彫りとなっている。

NPDによると、フードサービス店の客数が増加した4か国の全てにおいて、ファストフード分野の客数が増加している。当四半期中に客数が減少した国ではファストフード店の客数も減少していた。

「世界的に見て、ファストフード店の業績改善と消費者における昼食需要の回復がなければ外食・中食業界は方向性が定まらず、こちらは拡大、あちらは縮小といった堂々巡りの状況を抜け出せないだろう」と、NPDグループのフードサービス部門シニアバイスプレジデント Bob O' Brien は述べている。

NPD グループについて

NPD グループは、より優れたビジネス上の意思決定をサポートするためのグローバルな情報・分析サービスを提供しています。当グループは、独自データと業界に関する比類無き専門知識を組み合わせることで、クライアントの皆様がマーケットを調査し、消費者を理解し、収益性を伴う成長を実現するためのお手伝いをいたします。

対象カテゴリーは、化粧品、家電、エンターテインメント、ファッション、フードサービス、家庭用品、スポーツ、テクノロジー、玩具、ビデオゲームなどがあります。www.npd.com および npdgroupblog.com にてさらに詳しい情報をご覧ください。Twitter: @npdgroup もご覧ください。

CREST とは

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを、1年365日、直接消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に調査分析できる情報サービスです。(海外各国版もご用意)

詳細は <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

NPD Japan 最新ニュース:



調査地域が全国へ拡大、さらに60～79歳のシニア層のインサイトを追加し、様々なニーズへのご提案が可能です。詳細情報をご希望のお客様は下記までお問合せください。

お問合せ

エヌピーディー・ジャパン株式会社
セールス&マーケティング 高橋
Email : npdjapan.info@npd.com

〒108-0074
東京都港区高輪 3-23-17 品川センタービル 13F
TEL: 03-5798-7663 / FAX: 03-5798-7665